

実施報告書

件名（事業名）	「災害情報伝達に関するセミナー」
実施年月日	令和元年5月29日（水）13時30分 ～ 17時00分
実施場所 （会場）	（会場名）TKPガーデンシティ広島駅前大橋 3F ホール3A （所在地）広島市南区京橋町1-7 アスティ広島京橋ビルディング
主催者	中国情報通信懇談会、中国総合通信局、中国地方非常通信協議会
後援者	広島県
協賛	情報通信月間推進協議会
実施内容 （参加人員）	<p>■ 目的</p> <p>記録的被害をもたらした平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、自治体が発表する避難情報等を多媒体により伝達する仕組み、ICT利活用により住民が災害の切迫度や身の回りの危険度を適切に把握し避難の必要性を認識できる仕組み等について過去の経験や先進事例の共有を行うなど、防災・減災意識の更なる高揚を図ることを目的に、昨年度に引き続き、広島市でセミナーを開催しました。</p> <p>また、会場内では、ICT・IoTを利活用した防災・減災をテーマとした機器展示の他、事例発表者との個別相談会も実施しました。</p> <p>■ 実施内容</p> <p>○ 基調講演 「西日本豪雨災害と災害情報の伝達」 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長 教授 田中 淳 氏</p> <p>○ 講演1 「坂町における災害対応と今後の復興計画について」 広島県坂町長 吉田 隆行 氏</p> <p>○ 講演2 「創造的復興による新たな広島県づくり」 広島県 危機管理監 危機管理部長 尾崎 哲也 氏</p> <p>○ 講演3 「住民自らの行動に結びつく情報共有プロジェクト」 中国地方整備局 河川部水災害予報センター長 後藤 誠志 氏</p> <p>○ 講演4 「平成30年7月豪雨災害の特徴と危険度分布の利活用」 広島地方气象台 気象防災情報調整官 寺尾 克彦 氏</p> <p>○ 事例発表1 「Yahoo!防災速報アプリの防災・減災への取り組みについて」 ヤフー株式会社天気・災害サービス 竹内 美尋 氏</p> <p>○ 事例発表2 「LINE の防災利用について」 LINE株式会社 執行役員 公共政策・CSR担当 江口 清貴 氏</p> <p>○ 事例発表3 「ケーブルテレビを利活用した情報カメラ放送」 株式会社アイ・キャン 技術部長 吉村 満則 氏</p> <p>○ 事例発表4 「CMIDによる防災情報の一斉送信について」 株式会社中国新聞社 メディア戦略室 開発部 園部 貴之 氏</p> <p>○ 事例発表5 「土砂災害体験VRの開発 平成30年7月西日本豪雨災害から学ぶ」 株式会社理経 新規事業推進室長 石川 大樹 氏</p> <p>○ 機器展示</p> <p>事例発表者のヤフー(株)、LINE(株)、(株)アイ・キャン、(株)中国新聞社、(株)理経に加え、アイコム(株)、(一財)移動無線センター、(株)NTTドコモ中国支社、(株)エネルギー・コミュニケーションズ、KDDI(株)、TOA(株)、(株)TD衛星通信システム、西日本電信電話(株)、日本電気(株)、富士通(株)、マスプロ電気株式会社、中国総合通信局の</p>

	計17社・団体の出展がありました。 ■ 参加人数 170名
備 考	